

NEWS RELEASE

LIVE JAPAN
PERFECT GUIDE **KANSAI**

2019年7月24日（水）
一般財団法人関西観光本部
大阪市高速電気軌道株式会社
南海電気鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
阪急阪神ホールディングス株式会社
株式会社ぐるなび

年間利用者数3,500万人！日本最大級の訪日外国人向け観光情報サービスの関西版がスタート

「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」 2019年7月24日（水）グランドオープン

事務局6社・団体が力を合わせて関西の魅力を訪日外国人へ発信

一般財団法人 関西観光本部（大阪市北区、理事長：松本正義）、大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：河井英明）、南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役兼CEO 社長：遠北光彦）、西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：来島達夫）、阪急阪神ホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：杉山健博）、株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）の6社・団体は、事務局としてそれぞれが持つ資源やネットワークを活用・連携して、関西の魅力を訪日外国人向けに発信する訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」を2019年7月24日にグランドオープンしました。（URL：<https://livejapan.com/ja/in-kansai/>）

訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE」（以下、「LIVE JAPAN」）は、観光情報や飲食店情報をはじめ交通案内など、日本の旅に役立つ様々な情報をワンストップで提供するWEBサービスです。2016年4月の東京版オープンから3年で、**年間利用者数3,500万人を誇る日本最大級の訪日外国人向け観光情報サービス**に成長し、東京版、北海道版に続き、この度西日本では初となる第3弾として関西版をオープンしました。国際的なスポーツイベントや大阪・関西万博の開催、そして「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録が決まり、更なるインバウンドの発展が期待される関西エリア。一方で、訪日外国人の来訪・宿泊の大阪市と京都市への二極集中という課題も抱えています。「LIVE JAPAN」はこれまで東京版、北海道版で蓄積したノウハウを活かし、他エリアの魅力も積極的に発信していくことで関西広域への周遊を促します。

「LIVE JAPAN」には、日本の文化や観光情報を国別ユーザーの嗜好に合わせて記事や動画で配信する「情報コンテンツ」、正確で詳細な今の情報を多言語で配信する「LIVE情報」、日本滞在中に役立つ様々な「便利機能」の3つの特徴があります。さらに今回「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」のオープンにあわせて、「便利機能」のひとつである「災害情報一元化サイト」に、災害発生時には掲載施設自らが登録可能な災害支援情報を多言語で発信できる新機能「災害情報タイムライン」を追加しました。これらの特徴を活かして、旅を豊かにする基本情報に加え、自然や食、文化、ショッピングなど関西ならではの魅力を発信すると共に、訪日外国人の方々が安全・安心に旅を楽しめる環境を整えます。

「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」事務局は現在の6社・団体に加え、今後も本事業に賛同いただいた関西の企業などを応援パートナーとして迎え入れてまいります。事務局および応援パートナーが力を合わせて利便性の高いサービスの提供に努め、一人でも多くの訪日外国人に関西の魅力を発信していくことで、2020年に訪日外国人1,800万人という目標を掲げる関西の観光振興に貢献していきます。



「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」事務局



「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE KANSAI」応援パートナー



LIVE JAPANの概要

■ 3つの特徴

①情報コンテンツ

外国人と日本人の編集部が連携して記事や動画を制作。日本の文化や観光情報など国別に好まれる傾向を分析し、訪日前や訪日中に至るまで様々なシーンにおいて訪日外国人が興味を持つ情報を盛り込み配信しています。

②LIVE情報

店舗や施設が自ら、イベントや空席情報、期間限定クーポンなど、正確で詳細な今の情報を訪日外国人に向けて配信します。

③便利機能

経路案内や交通情報を調べることができる「経路検索機能」に加え、コインロッカーやwi-fiスポットなど、さまざまな設備や施設の検索ができる「便利マップ」を掲載しています。さらに2019年5月から「緊急時・災害時について」のページを拡充し、自治体の防災ページや公共交通機関の交通情報のリンクを掲載した「災害情報一元化サイト」としてリニューアル。災害発生時に掲載施設自らが登録可能な災害支援情報を多言語で発信できる機能も追加しました。

■ 掲載言語

・トップページ、情報コンテンツ、便利機能

8言語

【日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・マレーシア語・インドネシア語・タイ語】

・施設ガイドサービス、LIVE情報

5言語

【日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語】

■ 「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE」URL

<https://livejapan.com/ja/>